

児童が土砂災害について学習しました ～信里小学校～

平成 28 年 9 月 30 日（金）、長野市立信里小学校全校児童 53 名、先生 14 名及び信里区長会 8 名の皆さんが、土砂災害について学び、対策施設の見学をしました。

当日は、土砂災害についてパネルや模型を使って学習をした後、バスに分乗して篠ノ井山布施若林地区にある明治時代の石張えん堤、粒良田地区のコンクリート砂防えん堤、村山地区の地すべり対策用の井戸を見学しました。

学習会の様子

▼スライド学習



▼土石流模型実験



見学会の様子

▼明治の石張えん堤



▼コンクリート砂防えん堤



▼地すべり対策用の井戸



▼感想発表



児童からは「今まで何をせき止めているか分からなかったけれど、土砂だと知ることが出来てよかった。」「砂防えん堤が土石流を防いでくれて、とてもありがたいと思った。」等の感想がありました。

子供達を含め住民の皆さんが、居住地の土砂災害の状況や対策を知り、災害時に速やかに自ら命を守る行動がとれることを期待しています。

当所では、このような土砂災害に関する学習会を随時受け付けています。
希望される方は、是非ご一報下さい。

問い合わせ先

長野県土尻川砂防事務所総務課

(課長) 池田 親

(担当) 島田 恵

電話：026-229-2511

FAX：026-229-1024

E-mail：dojirisabo@pref.nagano.lg.jp